



病理診断部の仕事の流れ⑧

< 病態解析部門 病理解剖業務編 その2 >

病態解析部門では、電顕（電子顕微鏡）・免疫・遺伝子解析・病理解剖の4つの業務を行っています。今回、**病理解剖業務**について 第2弾（剖検手続きなど）の紹介です。

剖検の承諾が得られたら・・・

- ① JUMP上でオーダーを提出
- ↓
- ② 病理診断部受付（内線2257）に電話
※その際に診断科名、感染症の有無、頭部解剖の有無をお知らせ下さい。
- ↓
- ③ 担当の執刀医から折り返し連絡
- ↓
- ④ 剖検承諾書（下記※参照）を持参し、剖検準備室へ
- ↓
- ⑤ 剖検準備室の机上にある、剖検台帳に患者情報を記入
- ↓
- ⑥ その後は、執刀医の指示に従う

※休日は、時間内でも 担当者が剖検中の場合、電話が繋がらないことがありますのでご注意ください。

※2012年2月1日より、剖検承諾書の書式が一部変更されます。

病理解剖に関する遺族の承諾書

1. 亡くなられた方のお名前 : _____ 様
ご住所 : _____

2. 死亡年月日 : 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

3. 死亡の場所 : _____

自治医科大学附属病院 病院長殿

上記の遺体が死体解剖保存法の規定に基づいて貴病院で病理解剖されることを承諾いたします。

病理解剖は亡くなられた方の死因を確認し、病気の成り立ちを解明するために行います。このため、病理解剖では主要臓器から上記の目的に必要な肉眼標本と顕微鏡検査標本を作製して診断します。説明を受けられた項目に印をつけてください。

病理解剖で摘出された臓器・組織は一定期間保存され、礼意を失することなく、茶皿に付されます。顕微鏡標本やパラフィン・ブロックは半永久的に保存されます。

病理解剖診断の結果は匿名化に留意して、日本病理剖検報に登録されます

保存された標本を医学教育や学術研究に使用させていただきますことがあります。学会や紙上発表の際には匿名化して、個人情報公開されません。また、ゲノム・遺伝子解析研究に使用する時には、別途倫理委員会の審査を受けます。

特記事項 :

病理解剖に関して上記の説明を受け、承諾しました。

平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

氏名(署名) : _____

死亡者との関係 : _____

住所 : _____

説明者
所属 : _____ 担当医名(署名) : _____

<主な変更点>

- 1) これまで遺族の署名捺印（もしくは拇印）をお願いしていましたが、**遺族の自筆署名のみ**でよいことになりました。
- 2) 病理解剖に関する**説明者の所属、署名欄**を新たに設けましたので記入をお願いします。
- 3) 「ゲノム・遺伝子解析研究に使用する時には、別途倫理委員会の審査を受けます。」という文言を追加しました。

また、承諾書は、JUMPからダウンロードしてご利用頂けるようになりました。

解剖に関するQ&A

・剖検にはどのくらいの時間がかかりますか？

剖検自体は通常2時間程度ですが、前後の時間を含めると3～4時間程度必要です。また、脳や脊髄を含む場合はさらに30分以上余分にかかります。

・外勤先の病院で亡くなった方の剖検を依頼したいのですが・・・

院外から剖検の依頼を受け付けている所は、芳賀日赤病院、那須南病院、小山市民病院となっています。これは病院間の契約によるもので、それ以外の病院からのものは原則として行っておりませんのでご了承下さい。

・剖検翌週にマクロ検閲があると云われましたが・・・

剖検の翌週（感染症あり、また頭部解剖を行った剖検の場合は翌々週になります）の水曜日に、9時から剖検室でマクロ検閲を行っています。主治医の先生に簡単に病歴を提示して頂き、複数の病理医でホルマリン固定後の臓器を検討しています。新たな所見や見解が得られる場合がありますので、出席するようにして下さい。

・剖検レポートはどれくらいで出来ますか？

3ヵ月後を目途にしていますが、症例や検索内容によっても異なります。また、多くの症例が学生講義（臨床病理カンファランス, CPC）や病院CPCで提示され討論されますので、最終診断はそのような討論を経た後に出される場合があります。個々の症例に関しては剖検担当医にお問い合わせ下さい。

・剖検レポートで臨床医の欄に自分の名前を加えて欲しいのですが・・・

基本的に剖検台帳あるいは提出されたサマリーの臨床医欄に記入された先生をレポートに記載しています。台帳やサマリーには主治医として関わった先生を必ず記入するようにして下さい。

解剖受付時間

休日も含めて剖検の受付は8:30～17:15となっております。
時間外の場合は、翌朝の8:30以降に改めて連絡して下さい。

一般剖検室再稼働のお知らせ

過去（2009年）のCJD（クロイツフェルト・ヤコブ病）剖検以降、一般剖検室が無期限閉鎖状態になっていましたが、ギ酸による消毒、洗浄が完了しました。CJD剖検時に使用し、廃棄・焼却処分した器具・機材も新たに買いそろえ、2011年12月より再稼働の運びとなりました。今後は、感染症無しの剖検は一般剖検室で、感染症有りの剖検は感染症剖検室にて実施します。



消毒が完了した一般剖検室



新たに買いそろえた器具の一部

検体受付及び剖検受付時間

8:30 ~ 17:15 (内線2257)

注) 土・日・祝祭日は剖検のみ受付

(内線2257 or PHS18218)

ニュースレター PATHO News 病理診断部 No.15 2012. 1. 30

発行 : 福嶋敬宜(ふくしまのりよし)

編集 : **TEM**

飛田野清美(ひだのきよみ)

柳田美樹(やなぎたみき)

だったつ

田村聖月(たむらみづき)

松本祐弥(まつもとゆうや)